

# 臨床工学室

岡田 俊樹

## 組織及び構成員

室長	岡田俊樹（麻酔科 科長）
臨床工学技士	田岡幸恵（体外循環技術認定士・透析技術認定士・日本体外循環技術医学会近畿 地方会役員・大阪府臨床工学技士会学術委員）
臨床工学技士	峰松佑輔（血液浄化専門臨床工学技士・アフレスシス学会認定技士・透析技術認 定士・大阪府臨床工学技士会学術委員）
臨床工学技士	湊拓巳（体外循環技術認定士・透析技術認定士）
臨床工学技士	森耕平
臨床工学技士	黒岩拓真

## 概要

臨床工学室は、生命維持管理装置の管理・操作を中心に業務を行っている。また、医療安全の観点より日々の生命維持管理装置の動作点検を行い、医療安全の向上に貢献している。

### ・各部門について

#### 手術室部門

手術部における人工心肺装置および周辺機器の管理、操作業務について週 3 回の定時手術のほか、off pump CABG や腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術では自己血回収装置や周辺機器の管理・操作を行っている。

現在、臨床工学技士 3 名で人工心肺装置および周辺機器の管理・操作を行っている。また、夜間・祭日の緊急手術において ON CALL 体制で対応をしている。

#### 補助循環部門

手術室・心臓カテーテル室・初療室・各種集中治療室における経皮的心肺補助装置（PCPS）・大動脈内バルーンパンピング（IABP）の管理、操作業務を行っている。また、毎日、使用病棟を巡回し補助循環装置の動作点検を行っている。この巡回業務は、補助循環療法の事故防止の観点から大きな成果を上げている。

#### 血液浄化部門

人工腎室に臨床工学技士 1 名を常駐させ、入院患者を対象とした血液透析療法・血漿交換療法・免疫吸着療法・白血球吸着療法・腹水濃縮再静注法・末梢血幹細胞採取の管理・操作を行っている。また、重症患者に対しては各種集中治療室にて、持続緩徐式血液透析濾過療法・各種血漿交換療法・エンドトキシン吸着療法等の管理・操作を行っている。

#### ME 機器部門

一般病棟および各種集中治療室で使用する人工呼吸器 32 台の日常点検と物品管理を行っているほか、一般病棟および各種集中治療室に貸し出された全ての人工呼吸器が正常に作動しているか、毎日、使用病棟を巡回し、人工呼吸器の動作点検を行っている。この巡回業務は機械的人工呼吸療法時の事故防止の観点から大きな成果を上げている。また、2005 年に改正されました医療法に対応するため、当院独自の「医療機器の保守管理に関する計画の策定及び保守点検の適切な実施に関する指針」を作成し、定期的な更新を行い運用しています。

## 教育・研修

臨床工学室内における臨床工学技士教育・研修については、臨床工学に関する臨床教育プログラムが全国的には確立されていない状態ではあるが、当院独自のカリキュラムを作成し、新人教育を行った。また、臨床工学技士養成校より6名の学生を受け入れ、様々な臨床工学技士業務実習を行い臨床工学室をあげて教育研修に取り組んでいる。

### 【2011年度研究発表業績】

#### A-3

峰松佑輔、江口圭、平根佳典、田岡幸恵、湊拓巳、岡田俊樹、峰島三千男、和田晃：低フィブリノーゲン血症回避を目的としたVRAD血漿処理量の検討「日本アフェレシス学会雑誌」31(1):P.58-62、2012年1月

#### B-3

峰松佑輔、田岡幸恵、湊拓巳、森耕平、岡田俊樹：血液浄化専門臨床工学技士への期待と役割～さらなる発展のために～。第21回日本臨床工学会、大分、2011年5月

峰松佑輔、江口圭、平根佳典、田岡幸恵、湊拓巳、峰島三千男、和田晃：血液浄化器を用いた分離操作や設定条件に関する安全対策。第32回日本アフェレシス学会学術大会、東京、2011年9月

#### B-4

峰松佑輔、森耕平、倭成史、田岡幸恵、湊拓巳、伊藤孝仁、和田晃、岡田俊樹：急激な腎機能低下の進行を示した本態性クリオグロブリン血症の一例。第21回日本臨床工学会、大分、2011年5月

湊拓巳、田岡幸恵、峰松佑輔、森耕平、岡田俊樹：当院の医療機器保守管理外部委託の現状。第21回日本臨床工学会、大分、2011年5月

田岡幸恵、峰松佑輔、湊拓巳、森耕平：未来を担う医療人の発掘～体験型職業経験「アドベンチャーホスピタル」を開催してみよう。第21回日本臨床工学会、大分、2011年5月

峰松佑輔、江口圭、平根佳典、田岡幸恵、湊拓巳、峰島三千男、和田晃：血中フィブリノーゲン(Fib)値を考慮した\_安全なVRAD血漿処理量の検討(第1報)。第56回透析医学会学術集会、神奈川、2011年6月

江口圭、峰松佑輔、平根佳典、金子岩和、和田晃、峰島三千男：血中フィブリノーゲン(Fib)値を考慮した\_安全なVRAD血漿処理量の検討(第2報)。第56回透析医学会学術集会、神奈川、2011年6月

#### B-6

田岡幸恵、峰松佑輔、湊拓巳、岡田俊樹：補助循環装置リスクラウンドの有用性。第31回日本体外循環技術医学会 近畿地方大会、兵庫、2012年2月